

UTO

ニットだより

from Minamiayama

VOL. 32 2010 春

ロウバイや沈丁花の香が漂つてきます。
良い香りのする水仙もそろそろ咲き始めますね。
早春の花は香の立つ花が多いと思いませんか？

春の訪れは気分が浮き立ちますが、カシミヤのシーズンが終わる寂しい時期でもあり複雑な気分です。

やるやると言ひながら、なかなかできなかつた春夏企画の準備がやつと整いました。
これを期に、カシミヤ一辺倒のUTOから二毛作のUTOに進化したいと思つています。

世界でも珍しいニットのセミオーダーで、春のセーターを作りませんか？

ニット便りを、メールでの配信を始めました。多くの人から返事をもらい大喜びです。
携帯メールは無理のようですがパソコンの方はメールで送らせて頂ければ、手間も省けますので助かります。是非メールアドレスをお知らせください。

【春夏はコットンカシミヤと
スエードマコットンが主体】

コットンカシミヤは常時16色
スエードマコットンはまず6色

春の素材にカシミヤなの？と訝しがられるかも
れませんが、実は上質なコットンにカシミヤ
丈夫さを維持しながら驚くほどの柔らかさと軽
さが出るんです。カシミヤ混だからといって決
して暖かいことはありません。

一度手にとつていただけるとこの素材の良さを
実感していただけると思います。

今後、スエードマコットン、ジャージーのカット
ソーも次々に発表します。どうぞお楽しみに。

色は春らしい爽やかな色合いで揃えました。
ニットならではの着心地のいいジャケットトイ
プも用意しました。

今後、スエードマコットン、ジャージーのカット
ソーも次々に発表します。どうぞお楽しみに。

レディース・コットンカシミヤジャケット 3本取りフリーゲージ

No. 37-2021 ¥48,000.+TAX



春、重いコートを脱いだら明るい色
のニットジャケットはいかがですか？ 軽くて伸び縮みの自由さに着心
地抜群。今年はニットジャケット



ギフチョウ

メンズ・コットンカシミヤ 寄せ柄ベスト

No. 42-1009 ¥36,000.+TAX



人気のダイヤ柄を小さな穴空きの寄
せ柄で表現しました。ベストの内側
に半袖のボロのコーディネートは如
何ですか？ ゴルフ場にさっそうと登
場してください。

鉄道好きの習性で列車に乗る時、本音は運転士のように一番前の席に立ちたいと思うんです
が、子供のころは出来てもこの歳になると気が引けてなかなかできません。でもこのゆりかもめの車窓の眺めは大自然に勝るとも劣らない感動ものです。

旅が好きで特に鉄道の旅が大好きで、旅行屋にまでなり、いろんな所を旅しました。鉄道の旅での一番の楽しみは車窓からの眺めです。
四季折々の自然の景観や、地域ごとに異なる
人々の形や風俗、暮らしぶり等、一日中眺めて
いても飽きないし、テレビを見ているよりずっと
面白いと思います。（俺だけか？）でもどちら
かというとローカルの風景に惹かれます。そんな
自然派の私ですが、このゆりかもめの車窓の
眺めは大自然に勝るとも劣らない感動ものです。

新橋を出るといきなり汐留の超高層ビル群が迫ります。異次元の世界に入り込んだような強烈な印象で、正直、人工建物の美しさにとても新鮮な気持ちになります。

汐留の高層ビル群を抜けると浜離宮と海が見えます。東京で海がこんなに近かったんだと再認識。小笠原や伊豆七島への桟橋のある、竹芝や日の出過ぎるとレインボーブリッジをループを通して渡りますので、居ながらにして360度、ぐるっと東京湾と東京の街を見せてくれます。

渡ったところが若者に人気のスポットお台場浜公園。そして南極観測船宗谷の船の科学。ヴィーナスフォートのある青海。ビッグサイトのある国際展示場正門。ここから辺りで引き返しても十分価値はあると思います。

日没の早い冬場なら夕日が沈み、群青が残る空の下、ライトアップされたレインボーブリッジや数知れない多くのビルに灯る明りの洪水は息をのむほど美しいです。世界中でもこれだけの車窓はないかなないんじやないかと思います。

今年、IFFの帰りに国際展示場正門から乗り合わせたイタリア人の若者は「世界中を旅しているけど、こんなすごい眺めは経験がない」と興奮してカメラのシャッターを切り通しでした。



ゆりかもめの車窓から

【南青山界隈】

UTOはこんな街から発信しています

世界に誇るお勧め絶景ライン

めはそれが出来るんです。

遠隔操作の無人運転なので運
転士がいなく、運転席の代わり

に2人と1人掛けの座席が有る
んです。その上、モノレールのように高所を走る
ので眺望が広きます。ここなら全然気兼ねせずに

思いきり車窓が楽しめます。というよりそんな事

を気にしないほどいい眺めが次々に現れます。

始発の新橋駅は折り返し運転なのでちょっと待ってでも是非一番前の特等席を確保してください。

10分も待てば次の電車が来ます。



環境に優しいセーター

成形のセーター作りは原料を無駄にしない

地球温暖化防止のために限りある資源を大切にしようと世界中が取り組んでいますね。私がセーターに誇りを持つことのひとつに、「セーターはエコロジー」というのがあります。(ちょっと大きさかな?)

服は織られた布地を、身頃、袖、襟、ポケットなど、

パターンに合わせてカットして縫い合わせることで形を作っています。

その時にどうしてもカットロスが出てしま

ます。もちろん布帛はカットロスが出るからどうのこのうのということでは決してありません。あくまでもセーターはカットロスなどをあまり出さない、資源を有効利用するといふ些細なセーター



巨大鏡を使いながらの八角リンクギングマシン

み、皺を伸ばして糸に戻すんです。それを毛糸玉にするために小学校低学年の頃、「前にならう!」のように腕を前に伸ばしてほどいた毛糸を持たされたものです。すぐには手が疲れて手が下がつてくるので『ほら、手が下がってきたよ、ちゃんと持つてないと作ってあげないよ。前にいらない!』とはつぱをかけられながら、新しいセーターを編んでもらえる嬉しさと拷問のように手がだるかつたのをよく覚えています。

UTOのセーターの基本は成形ニットで

すから、糸は基本的にはずーっと繋がっていますので、カットロスは出ません。

但し、一部の丸首はきれいなカーブを作りたいので、この部分だけはカットすることがあります。ニットでも布帛のよう四角い布地をパターーに沿ってカットするのが『カットソー』です。

これは同じニットでもカットしない成形ニットに対して言われるものなんですね。だから布帛はカットソーとは言いません。『カットソーはニット』と覚えてください。

セーターは身頃や袖、襟など

をパターー通りに編んでいきます。そのバーツをリンクギングすることで縫い合

わせて一枚のセーターを作ります。

それらのバーツは広がるところは増やし目で、狭く

なるところは減らし目で編むという技術を使いながら編みあげていきますので原則としては糸を切ることはありません。ですから一つのバーツは一本の糸で繋

がっているんです。

原料が高価だった私の子供のころは、母が古くなつたセーターをほどいて編みなおすことをやつてしまつた。セーターを解いた糸をカセにして、湯通して編

忙中暇詫・ニット屋のたわごと

今回の挿絵はギフチョウ

花を描くのは難しくて蝶にしました。なんて蝶なんか聞かれるんですが、実は子供のころから蝶の採集が趣味の昆虫少年だったので蝶の羽の構造や模様などをよく知つて蝶の絵を描くのは結構得意でした。要是書けるのを描いているだけなんです。(スマセン!)

ギフチョウは最初に発見されたのが岐阜県だったのです。花を描くのは難しくて蝶にしました。なんて蝶なんか聞くかれるんですが、実は子供のころから蝶の採集が趣味の昆虫少年だったので蝶の羽の構造や模様などをよく知つて蝶の絵を描くのは結構得意でした。要是書けるのを描いているだけなんです。(スマセン!)



早春の女神・ギフチョウ

イエローストーン レイク ホテル

今日はイエローストーンの手前のグランドティトン国立公園の入り口のジャクソンまで行って泊まる。ソルトレイクからレンタカーを北へ走らせたんですが現実のアメリカは大きくて、ヨタ州からアイダホに入つても行けどもシャガイモ畑でなかなか街が見えません。日没後やつとトイオミング州に入つて『もう宿を探さないと泊まれないよ』と、ヴィクトリアという小さな街でモーテルに飛び込みました。その宿の親父さんに教えてもらった地元の小さな、バー兼レストラン(名前も覚えていない)で食べたディーボーンステーキがメチャメチャ美味しかったこと。

未だに忘れません。

日本の国蝶はオオムラサキというタテハチヨウ科の蝶で

ギフチョウの学名はルードルファ・ジャボニカと言います。ジャボニカと言うほどに日本にしか生息しない蝶なんですね。主にカンアオイという草を食草としています。葵とは例の徳川家の家紋の葵の紋のアオイです。まさにショウゲンバタフライなんです。

ギフチョウの学名はルードルファ・ジャボニカと言います。ジャボニカと言うほどに日本にしか生息しない蝶なんですね。主にカンアオイという草を食草としています。葵とは例の徳川家の家紋の葵の紋のアオイです。まさにショウゲンバタフライなんです。

日本ではオオムラサキというタテハチヨウ科の蝶で

切手にもなっていますが、蝶の愛好家の間ではこのギフチョウのほうが断然人気があります。それはギフチョウが日本にしかない長い冬で終わって春一番に現れる、日本で神秘的なイメージがあるからでしょう。僕もどちらと言わわれたらギフチョウの方に一票を投げます。

40年前、長年の念願が叶ひ岐阜県の谷汲という処で

初めて逢つて以来春が来るどこの春の女神を思い浮かべます。昔は蝶を見つけると捕まえて標本にしないと気がすまないコレクターでしたが、このころは絵を描いたら、見るだけで満足する枯れた愛好家になりました。

故郷の長崎で銀行マンをやつている弟はいまだに現役で、何年前、久しぶりに上京して来て会つたんですが、二人で行つたのが上野の科学博物館の昆虫セクション。半日堪能して喜んでいた兄弟にカミさんのおきれ顔・・・。

4年前、このギフチョウに逢うだけのために信州の白馬に行つきました。5月の連休の初日、良い天気だったの立川から中央線のあづさに飛び乗つて再会してきました。カタクリが咲く里山でときどき飛来するギフチョウにドキドキして、まさに昔の恋人に逢つた気分でした。

全米から集まつて来て、夏の間にここでアルバイトをしていふといふ学生スタッフ達が、とっても素敵なお顔で、洗剤をして楽しそうに仕事をしていたのが印象的でした。うと



世界のホテルを旅する (三十一)

元、旅行屋のお勧め イエローストーン・USA